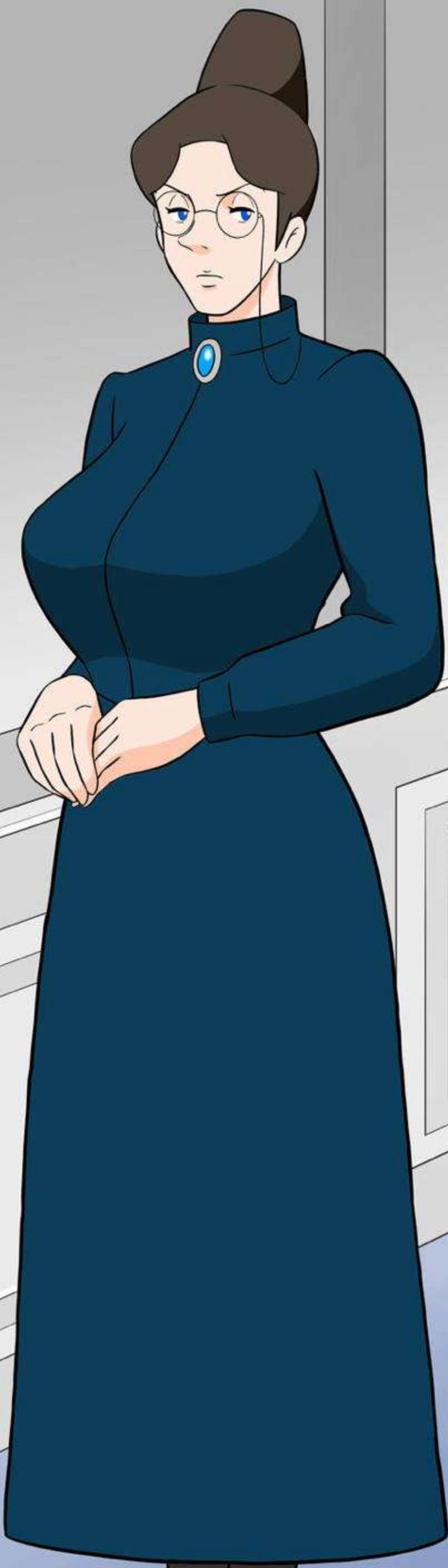


徳水
プロ
サク



フランクフルトの熟女
ロッテンマイヤー

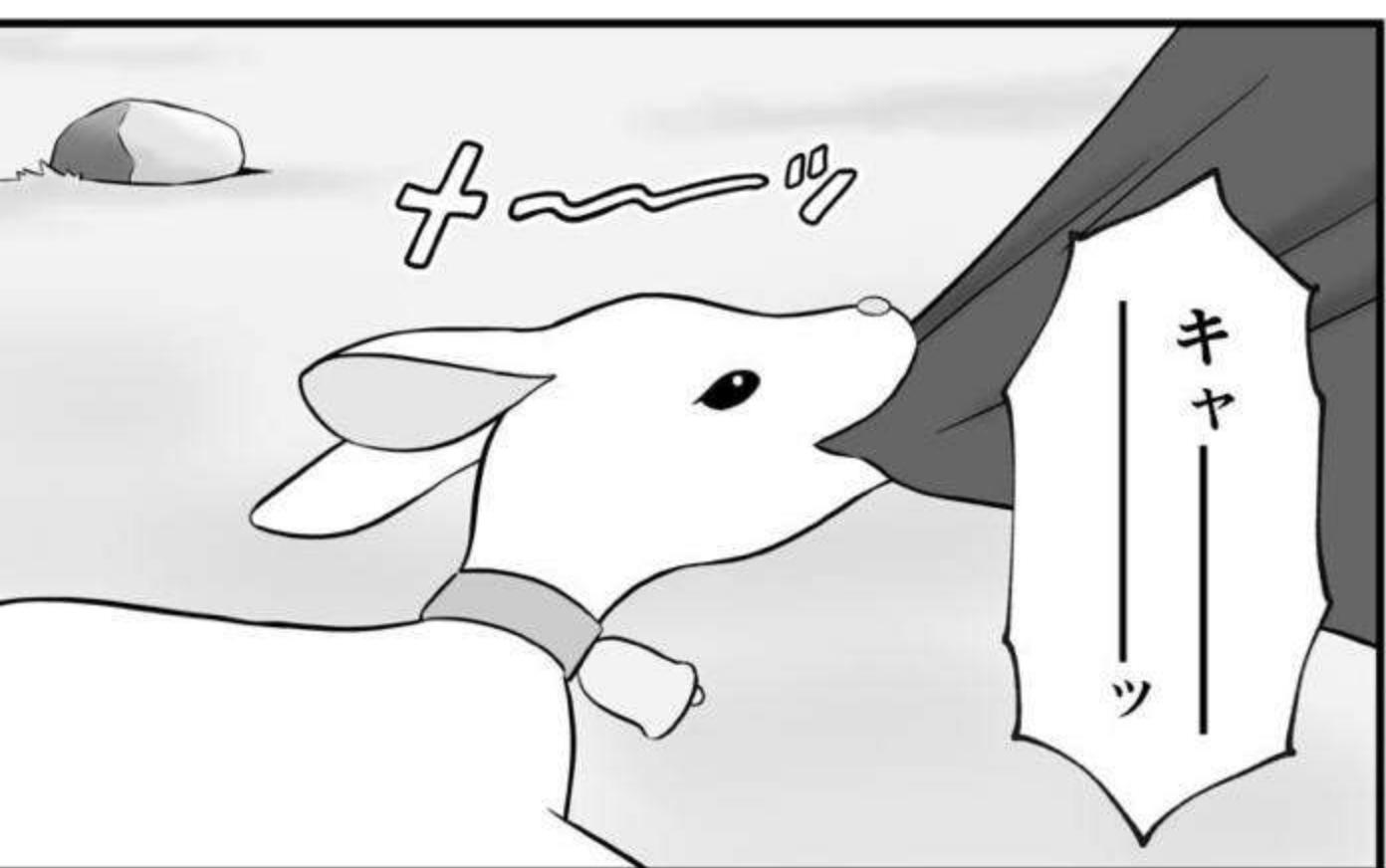
はじめに

ハイジはアルムの山でおじいさんと暮らす元気いっぱいの女の子。

大の親友であるフランクフルトのお嬢様クララが初めて山へやって来ることになり大喜びのハイジ。

病弱で脚の不自由だったクララは大自然の中で生きる力を取り戻し、ハイジやおじいさん、ペーターの助けを借りて懸命に練習に励んだ結果、ついに歩けるようになるのでした。

それから一年後、クララが執事のロッテンマイヤーさんと共に再びアルムの山を訪れるところからこの物語は始まります——

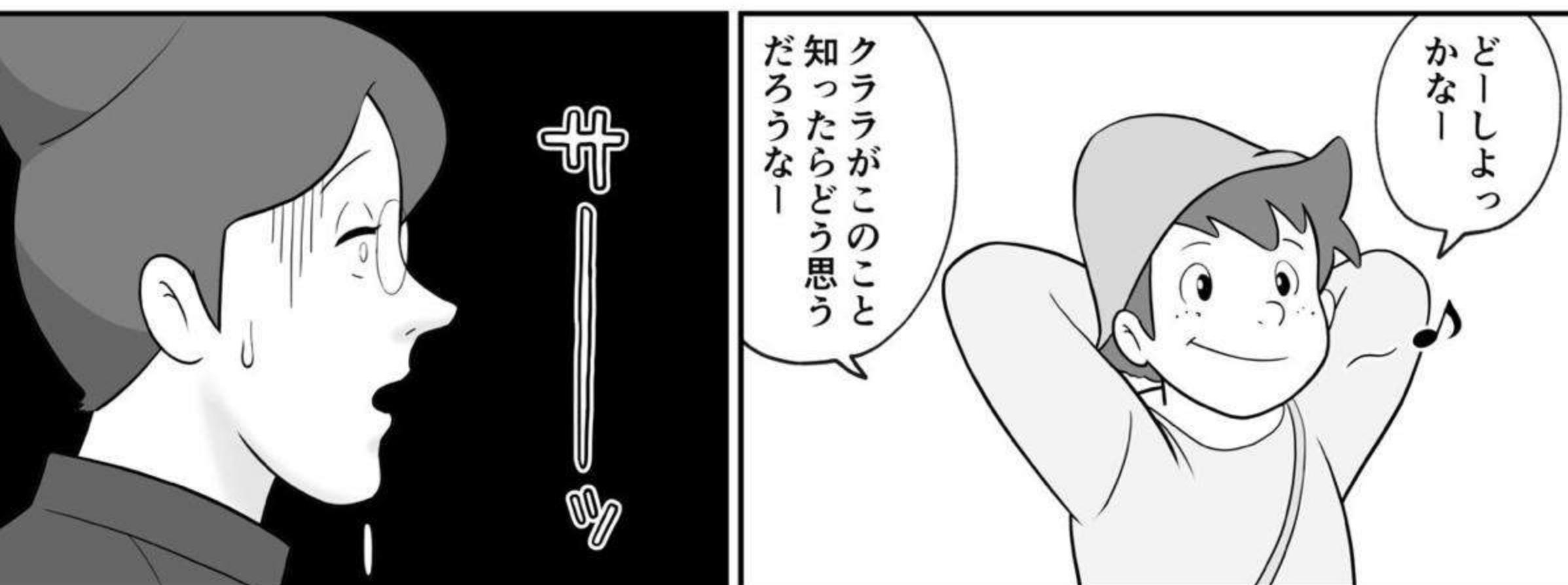




ああ、ご主人様に会いたい：

ご主人様、私は
いつでもあなたの
ことをお慕い申して
いるのですよ





お願い、
皆には黙つてて
ちょうどいい!!

なんでも
するから!!

結構年増の割に
いい体に
してんね

ふーん
じゅ
じゅ

もういいでしょ?
言われたい通りに
黙ったんだから
わよね?
黙つてくれる

そろそろ
よく見える
ように手は
後ろで組んだ
ままね



こつからが
本番だよ

おばさん
本気で
言つてるの？

ん…

んむ…

ヌニツル
ヌニツル

な、なんで
私がこんな
こと…

僕を満足させて
くれたら黙つてて
やるからしつかり
しゃぶりなよ







ご期待通り
おばさんのこと
も気持ちよくして
あげるから四つん這い
になつてそのでかい
尻をこつちに向けて

私は欲求不満
おばさんですって
ちゃんと顔に
書いてあるよ

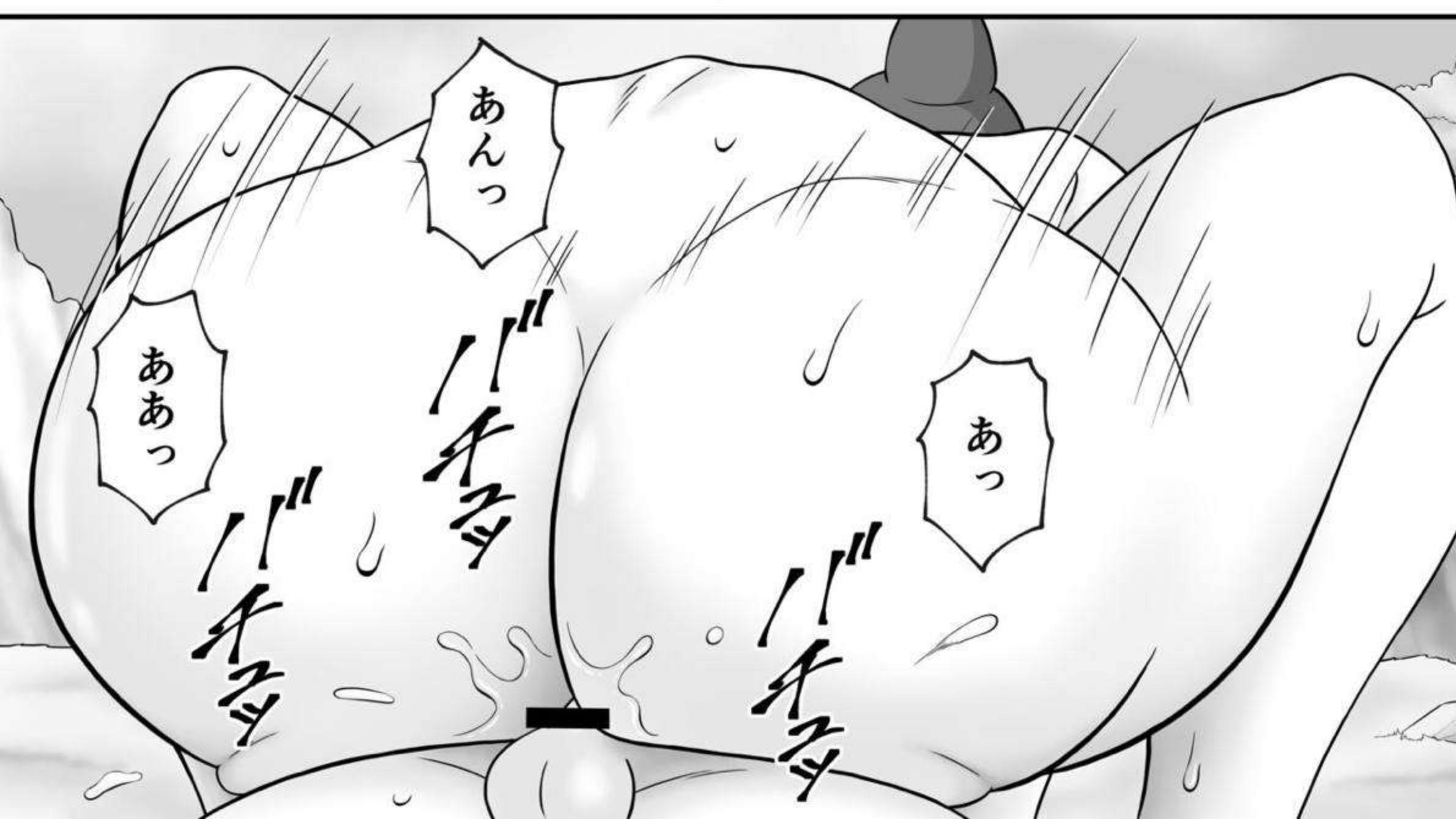
んん…

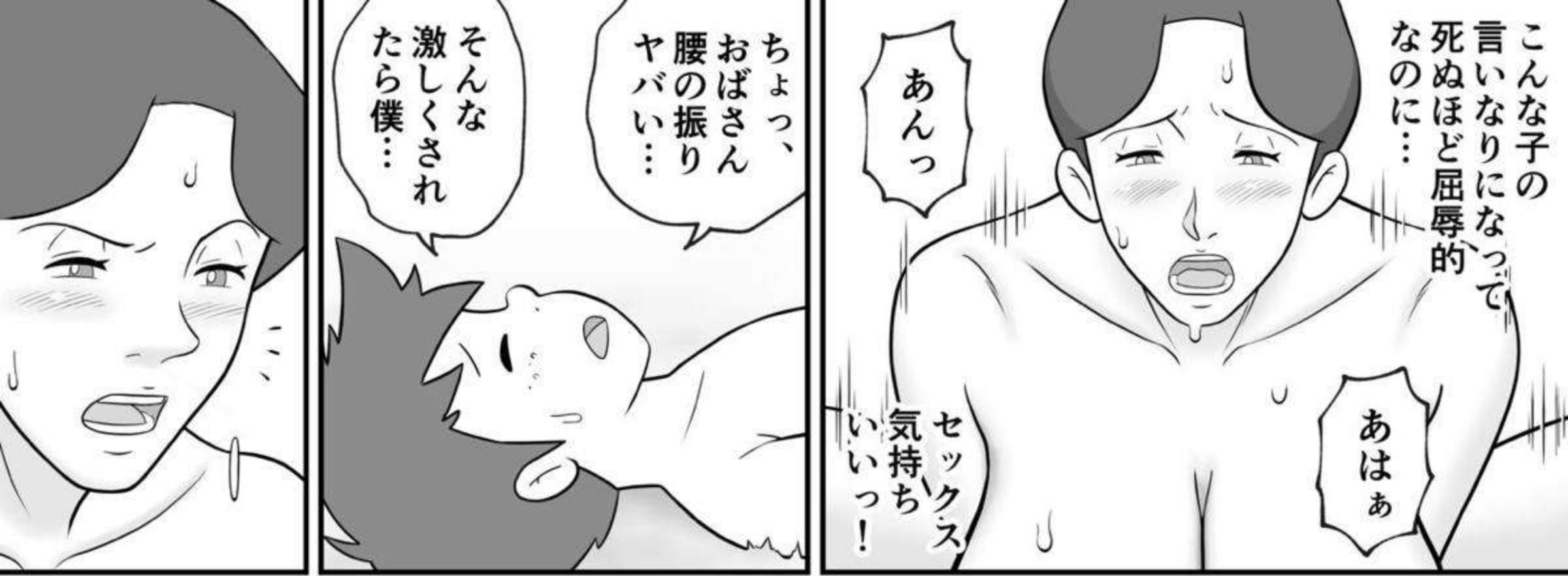
うわつもう
ビショビショ
じゃん、どんだけ
興奮してんの

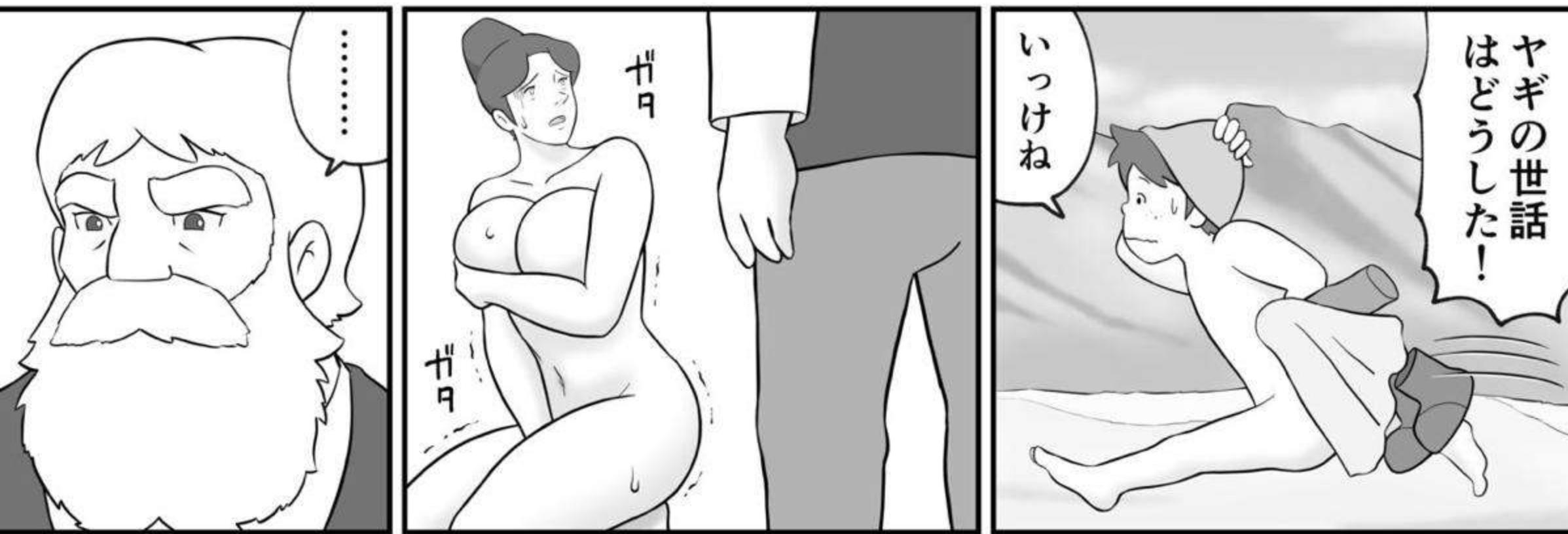


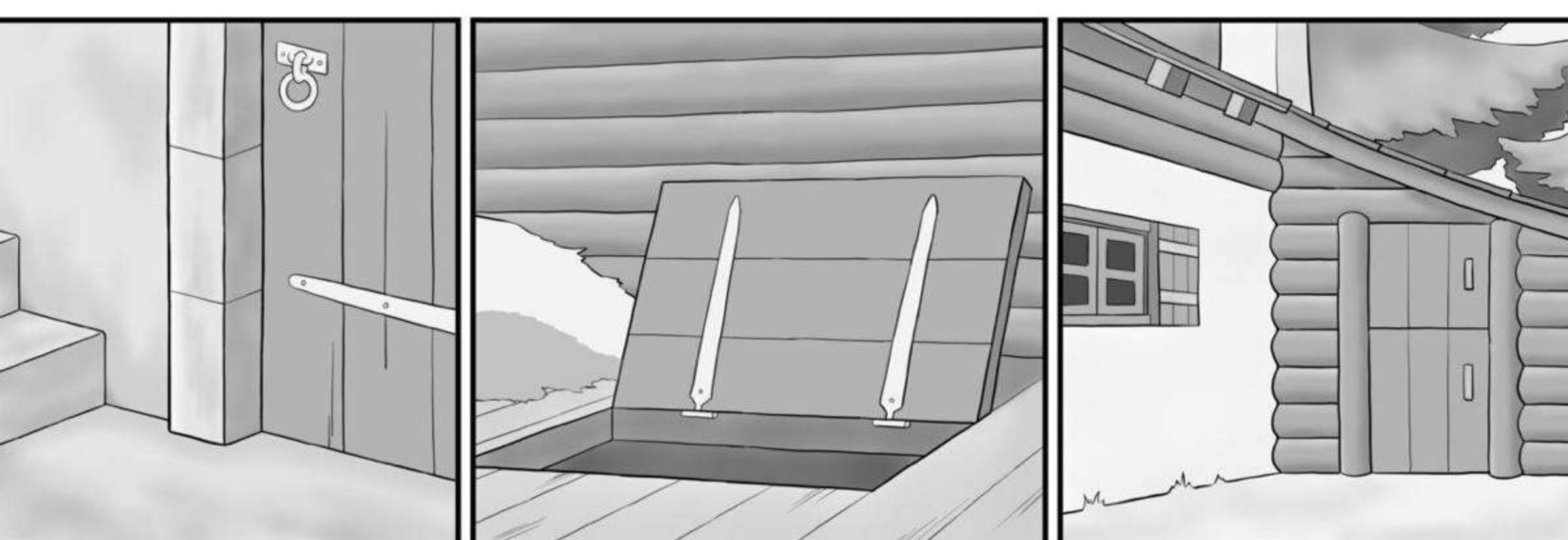
















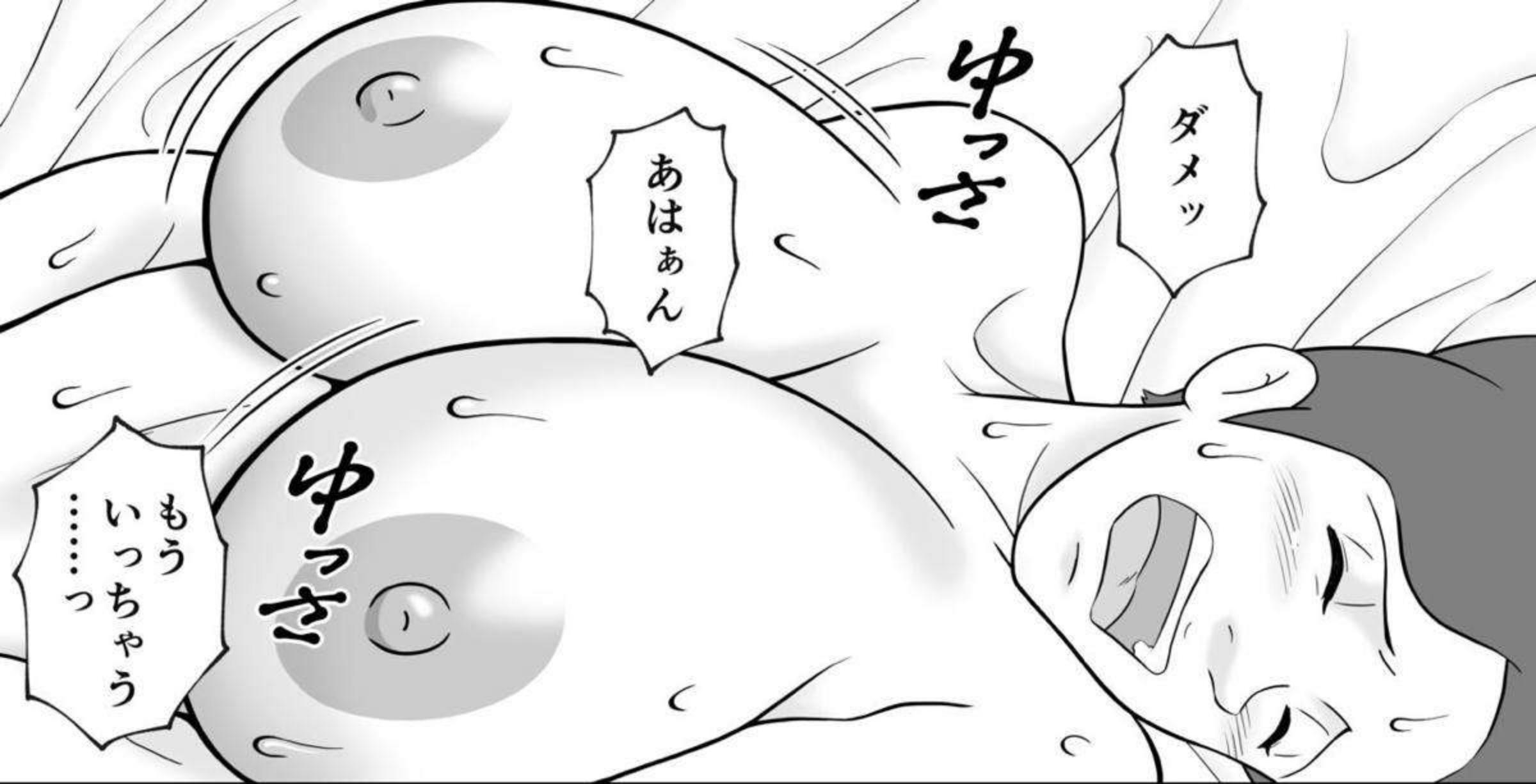










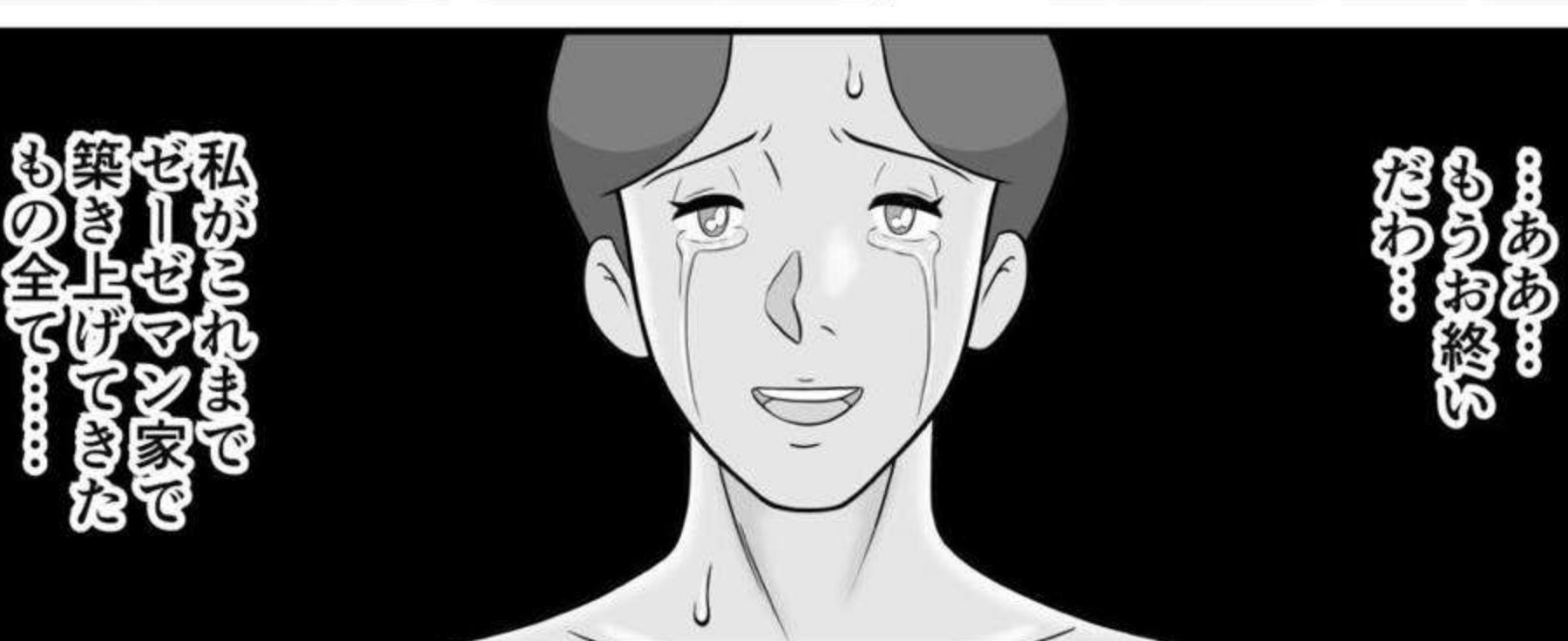


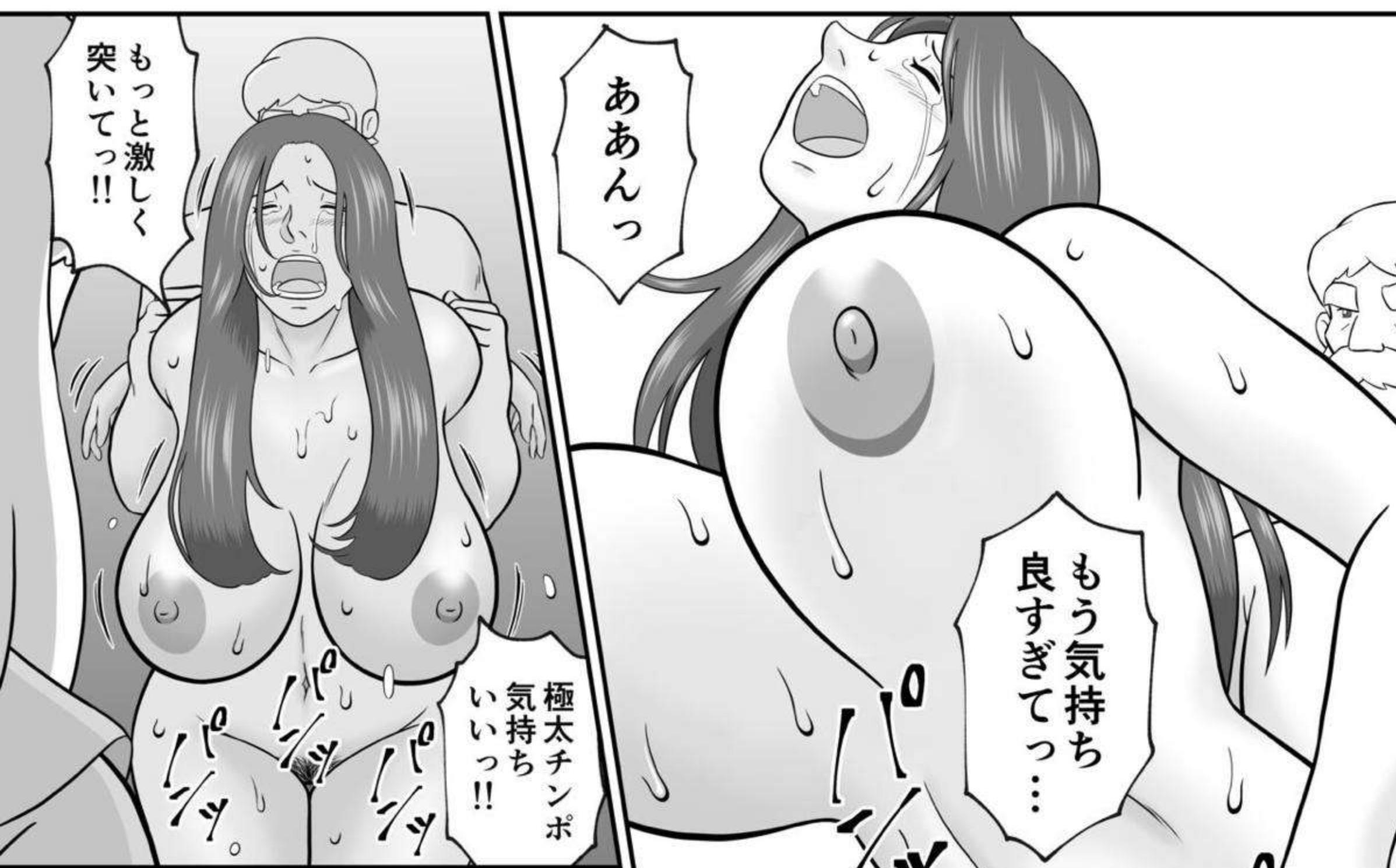
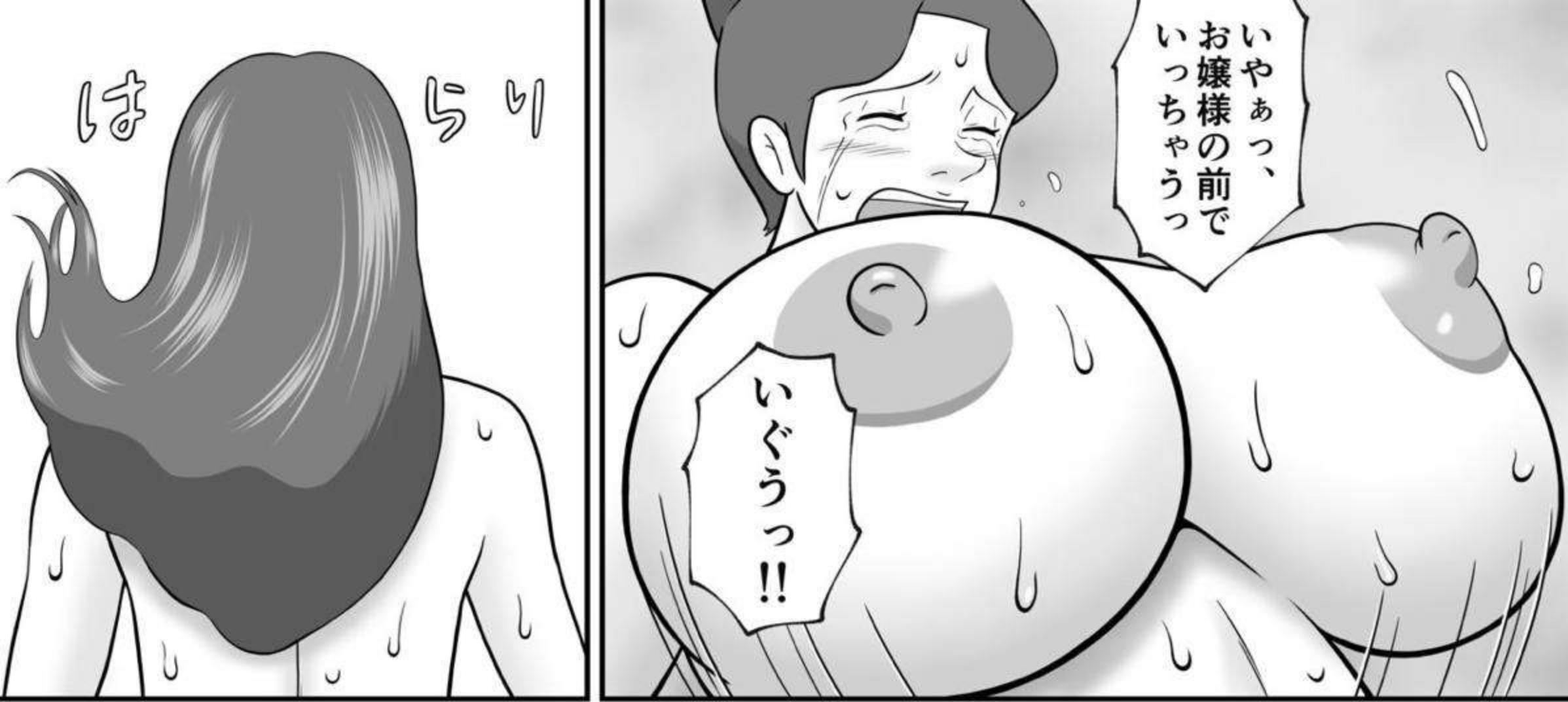














ワシも
そろそろ
いきそ
うだ

私が今まで
誰にも中出し
されたことが
ないの!!

あんっ

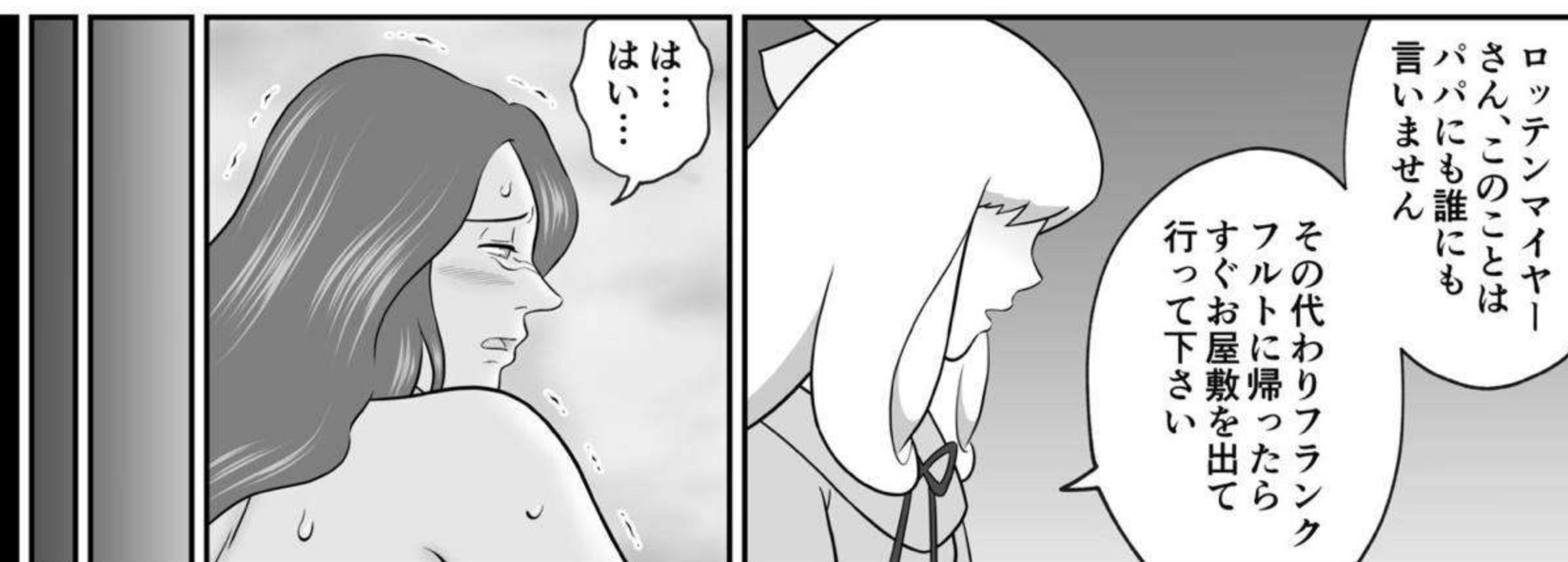
お嬢様の
前で初めて
中出しされて
いきたいつ
!!

どこに
出して
ほしい?

ああっ

子宮に精液
流れ込んで
来るっ

いぐうつ!!!



どうやってあの
おばさんをその気に
させようかと思つて
たらオナニーし始め
るんだもん

そこに付け込めば
いいだけだったから
簡単だったよ

あの女も普段は
上品ぶつてはいるが
薄皮一枚剥げばただの
盛りのついた動物の
メスと一緒にだつた
いうことだな

厳しすぎるあの人
が嫌いで辞めさせたくて
思われちゃう

ほんとに身の程
知らずよね、ゼーゼ
マンさんのことを
好きになるなんて

亡くなつたクララ
のお母様のこと。
のなんだと思って
のかしら

パパはあの人のことを
とても信頼してゐるから
私が何を言つても
信じてもらえない

でもロツテンマイヤー
さんがゼーゼマンさんの
ことを好きだつたなんて
私ちつとも気づか
なかつたなあ

執事が主人を
好きになるなんて
絶対に許されない

だから自分で
仕向けなきや
ならなかつたの

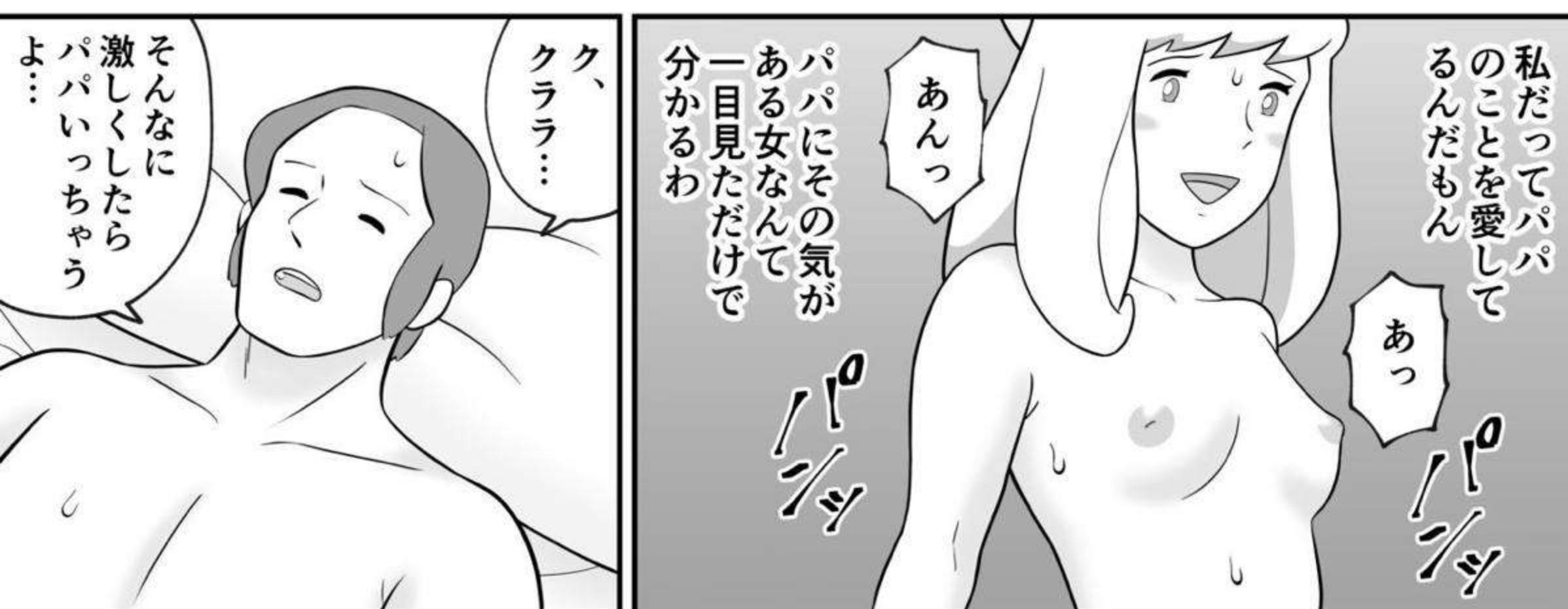
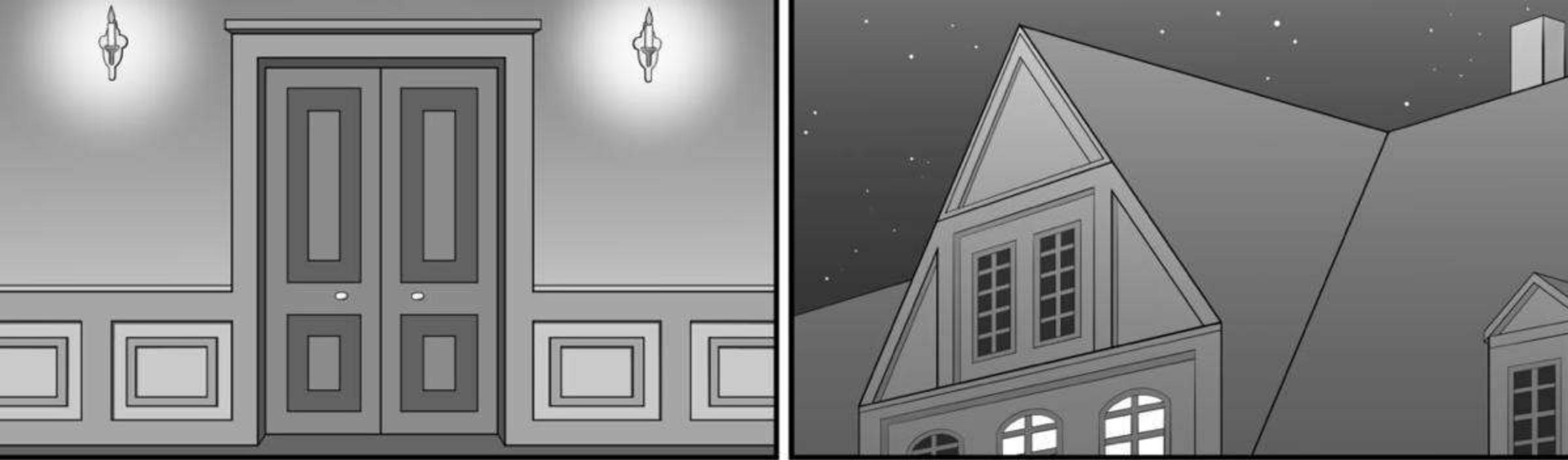
よく
わねえ、
クララ

そりやあ
分かるわよ

そんな素ぶり
なんか全然
見せなかつた
んだもん

え、どう
して？

ウフフ：



次回予告

イタリアのジェノバに暮らす少年マルコは、

長く困難な旅の末、ついにマルコはマリアとの再会を果たします。

出稼ぎに行つたまま連絡が途絶えてしまつた母親のマリアを捜すべく、単身アルゼンチンへと旅立ちます。

そんな母と子が愛によつて結ばれるのは自然の成り行きでした。



一緒にジェノバに帰ろうとせがむマルコにマリアは困惑します。なぜならマリアは奉公先の主人メキーネスさんと強引に性奴隸契約を結ばれていたからです――

次回、世界名作劇場シリーズ第二弾『母をたずねて』千里編にご期待下さい！

…すみません、嘘です

©2023 POOSAKU TOKUNAGA

